

日本映画衛星放送株式会社 第20回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成21年11月10日(火) 15時~16時
2. 開催場所 : 東京都江東区青海2-43
株式会社ジェイ・スポーツ・ブロードキャスティング内 大会議室
3. 委員の出席 : 委員総数7名 / 出席委員数7名
出席委員の氏名(敬称略); 今村昭(石上三登志)・菊地実・坂井保之・曽根和子・田保橋淳・
鳥居美砂・西正
放送事業者側出席者氏名 ; 常務取締役 酒井彰
編成部副部長 碓井恭子・編成部マネージャー 和田徹
番審担当 高岡幸代(記)
4. 議題 : 時代劇専門チャンネル 「大河ドラマ・アーカイブス」について

5. 議題の概要 :

過去のNHK大河ドラマは放送テープが全て残っているわけではなく、特に1960年~70年代に作られた初期作品は当時VTRテープが高価だった為、放送後は別番組に再利用され、殆どのテープが保管されていないというのが現状である。その状況下において、たとえ全話揃っていないとしても、現在残されているエピソードを貴重な時代劇作品として視聴者に届けることは意義のあることと考え、「大河ドラマ・アーカイブス」という企画を立案した。

この企画は1話もしくは数話分しか現存していない大河ドラマを集め、本編の前後に元NHKアナウンサー松平定知氏による解説コーナーを設け、作品のあらすじや解説をするという番組構成になっているが、このような番組のあり方について審議を行う。

事前に本番組(1と2)のVTRを送付し、ご視聴いただいたうえで審議を行った。

6. 審議内容 :

< 審議委員意見 >

- ・ これは本当に貴重である。映画史としてもテレビ史としても重要なターニングポイントになったので、もっと掘り下げて然るべきでないか。
- ・ 貴重なライブラリである。「花の生涯」をみて感じたことは、当時の演出がとてもゆっくりである。最近のドラマの半分ぐらいのスピードではないだろうか。俳優さんの所作が美しい。今より本格的である。映像は鮮明ではないが非常によいものをみた。解説は、もう少し丁寧なやってもらいたい。視聴者の反響はどうであったか？
- ・ こんな良い宝庫があったのか。大河ドラマに着目して番組を制作した意欲に最大の敬意を評す。松平さんの渋い語り口と顔だけで存在感がある。素材に感動の要素があるので、もっと解説をして欲しい。もう少し手間と暇をかけて制作するのがよいのではないか。この企画は大事に未永く磨いて欲しい。

- ・ 事前情報を知らずにこの番組を見ると、NHK の番組を再放送しているようで残念である。せっかく、時代劇専門チャンネルオリジナル企画として作った番組なのに、評価されないのではないか。
- ・ NHK が放送していると思っていた。時代劇専門チャンネルでこれだけの作品を放送するのは、テレビドラマ史上大変な功績である。昔はこうだったのかと懐かしく感動してみた。お茶の間で良い環境で見られるチャンスがあるので喜んでいいる。
- ・ 大河ドラマの素材が残ってないのに驚いている。NHK ではなく時代劇専門チャンネルが放送した事に意義がある。最初の一步としては上出来だと思う。解説の松平さんもよい。安定感があるし見るものを引き付ける。大河ドラマに目を付けたのがよい。歴史小説なので見ていなくてもだいたいのあらすじが分かるので、その中の 1 話でも安心して見られる。
- ・ 映像文化の継承として価値は高い。視聴者から、続きが見られない連続ドラマを放送してそのクレームはないのか？そう意味では、それを補う説明は必要だし松平さんの解説はちゃんと補っているのよい。

< 事業者回答 >

- ・ 一番苦労している問題は権利である。一時的固定の権利なので、テープを保存していても放送出来ない事が過去の作品が失われていくひとつの原因なのかもしれない。
- ・ もっと深く掘り下げて面白い形も考えられたのかと思う。スタッフがもっと勉強しながら、あるいは先生のお話を聞きながらやっていく余地は、まだまだたくさんあると感じた。
- ・ 視聴者には大変好評である。期待以上の反響がホームページ等に寄せられている。
- ・ 続きがない事へのクレームはない。映像状態が良くないので、もう少し綺麗にして放送して欲しいとのリクエストはあった。テレビドラマの初期の頃は、ブラウン管で放送している映像をフィルムで録画していたので、画が歪んだりしている。
- ・ 「草燃える」はこの番組をきっかけに全話揃った。今回新たに発掘されたエピソードも加え来年 2 月に放送する準備を進めている。

7. その他の参考事項：特になし

以 上